

令和元年度第1回総合計画審議会 議事録（要点）

- 日 時 令和元年7月24日（水）19：30～21：15
- 場 所 御嵩町役場本庁舎2階 第1委員会室
- 出席者 審議会委員（敬称略、50音順）7名
 安藤信治（御嵩町議会）、鈴木元八（観光協会）、須田俊幸（民児協）、
 中瓦智子（教育委員）、平井繁幸（商工会）、益川浩一（岐阜大学）、
 水野耕治（活性化委員）
- 事務局 6名
 伊左次一郎（総務部長）、長屋史明（企画調整担当参事）、
 山田敏寛（企画課長）、丹羽英仁（企画調整係長）、
 玉川勇氣（企画調整係員）、成瀬達也（企画調整係員）
- ※都合により欠席となった委員（敬称略、50音順） 4名
 大沢まり子（御嵩町議会）、鍵谷幸男（農業委員、行革委員）、
 葛谷範子（子ども会育成協議会）、重政伸司（金融協会）

■議事録（要点）

企画課長	<p>○開会</p> <p>=====</p> <p>（資料の確認）</p> <p>=====</p> <p>○委員委嘱</p> <p>=====</p> <p>委嘱書交付（机上交付）</p> <p>=====</p>
総務部長	<p>○開会あいさつ</p> <p>御嵩町では2大事業と称し、庁舎等の移転と亜炭廃坑の対策について、一生懸命実施しているというところ。</p> <p>庁舎については、大方の土地所有者の賛同を得て、基本構想が終わり基本計画の大詰めを迎えている。これが終わると、農振法、農地法の手続きに入り、それと並行して都市計画法の開発の手続きを行い、それが終わると、正式な用地買収というような運びになると思っている。</p> <p>亜炭廃坑については、75億円以上の補助金をいただき充填工事の準備をしており、第1期②の西田地区は、充填はすでに始まっている。2期3期については、非常に民家が密集している場所で、注入工のポーリングになかなか時間がかかっているという状況ですが、最初から想定していたものであり9月からは本格的に充填が始まってくるだろうと見込んでいる。4期については顔戸のゴルフ練習場</p>

	<p>の周囲で、これも9月くらいから充填が始まる見込み。それでもまだ20数億補助金があり、5期を計画し、およそ調査を終えレベル判定をいただく段階に入ってきたという状況。いたるところで民家の多いところに入っていくので、通行規制等で皆さんに迷惑をかけると思う。よろしくお願ひしたい。</p> <p>本日の総合計画審議会では、4年目ということで前年度平成30年度の実績を報告させていただいた後、皆様からご意見をいただきたいと思っている。忌憚のないご意見をお願ひしたい。</p>
<p>企画課長</p>	<p>○委員紹介 =====</p> <p>(委員自己紹介) =====</p> <p>本日は、大沢委員、鍵谷委員、葛谷委員、重政委員は、ご都合により欠席となる。</p> <p>○会長・副会長選出 =====</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の推薦なし ・事務局案として会長に益川委員、副会長に平井委員を推薦し、委員の拍手を以て承認された <p>=====</p> <p>○事務局紹介 =====</p> <p>(総務部長以下事務局紹介) =====</p>
<p>企画課長</p>	<p>○議事 =====</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席委員7名、過半数のため成立 ・会議の議長を益川会長にお願い <p>=====</p>
<p>益川会長</p>	<p>総合計画の進捗状況等を審議していただき。忌憚のない意見をいただき、円滑な進行に努めるので協力をお願ひしたい。第五次の総合計画にかかる平成30年度実績について、資料1、2に基づき事務局から説明をお願ひしたい。</p>

<p>企画調整 係長</p>	<p>=====</p> <p>(中略) 事業実績の説明</p> <p>※資料1について、平成30年度と評価が変わった部分を中心に説明した後、資料2について数値目標の達成状況が芳しくない指標や、もう少しで達成できそうな箇所を中心に説明</p> <p>=====</p>
<p>益川会長</p>	<p>意見交換、質疑の時間を約30分から40分ほどとりたい。取組内容、成果、課題といったところを示しているの、質問でも良いが、課題解決に繋がるようなアイデアも積極的にいただけると大変ありがたい。どんなことでも良いので、委員の皆様から発言をお願いしたい。</p>
<p>須田委員</p>	<p>資料2の1-1、農地を維持管理し生産活動を行う集落数については、どういう事業を指して2集落とっているのか。</p> <p>また、3-1の防災リーダー数が193人と出ている。目標が200人以上というのが多いのか少ないのか、また、200人という目標はどのように設定しているのか。</p> <p>これに関連して、3-3の防災リーダー所属自主防災組織数の51というのは自治会単位で組織されているという解釈で良いか。例えば自治会に防災リーダーがいるところいないところと、バラツキがあると思うがどうか。</p>
<p>企画調整 係長</p>	<p>農地を維持管理し生産活動を行う集落数については、交付金事業を投入して生産活動を向上させるもので、投入した事業単位でカウントしている。具体的には自治会単位に近く、上之郷地区と伏見地区で1つ、それぞれ自治会単位でカウントしている。</p>
<p>須田委員</p>	<p>個人でやっているわけではなくて、補助金を受けてやっているものが2集落ということで良いか。</p>
<p>企画調整 係長</p>	<p>良い。また、今年度は3集落になるという報告ができる見込みである。</p>
<p>須田委員</p>	<p>防災リーダーの数と自治会数とのバランスについてはどうか。</p> <p>今年は今のところ災害がなくて良いが、災害警戒時に高齢者避難が出ると民生委員としても動いた方がいいかという話があるが、実際に実力も組織も技能もない者が動いて、かえって混乱させたりけがさせたりしてしまっているという心配があり、民生委員としては、後方支援に徹することになっている。</p>

	<p>自治会では自主防災組織が作られて、防災リーダーはいる、自治会の防災組織がある、民生委員も動ける、消防警察も動くということになると、船頭多くして船山に登るといふことになりかねない。もちろん警察と消防はしっかり動いていく必要があると思うが。</p> <p>いざ何かあった場合に、自治という格好で住民みんなで守っていくということであれば何らかの形で参加したいが、いつどこでどう動いたらいいのかははっきりしない。そういうこともあって防災リーダーが一体どのぐらいいて、どのぐらいの位置付けにいるのかということをも質問したいと思っていた。</p>
企画課長	<p>防災リーダーは、まずは町内各自治会に防災知識のある人を増やす、有事の際に動ける人をなるべく増やす、つまり避難者にならずに活躍できる人の育成ということで、防災リーダーの知識がある人でも実際には被災して動けないという場合もあるので、なるべくたくさんの方が置けるように増やしていこうというのが当初の動き。有事の際にその人がトップであるということではなく、知識を持った人を増やすことで、町の防災訓練も防災リーダーさんが中心になって行っている。</p> <p>また、自治会単位で見ると 68 自治会中 17 の自治会に防災リーダーの方がいないという現状。</p> <p>防災リーダー193 人という数については、試みてきた中でこの数年の中での実績としては、目標値に近くまずまずであるが、まだ町の成人 15,000 人のうち 200 人ということで、この数が多すぎることはないので、また引き続き増やしていきたいと思う。また、有事の際に一番動けるといふことで、高校生の力は大きいと思うので、高校生の防災リーダー育成も行い、防災人材を増やしている状況である。</p>
鈴木委員	<p>防災リーダーの養成講習を受け防災リーダーとなった方が、地域内でどのくらいリーダーシップをとっているのかということも考えられたことが、町としては少ないのでは。リーダーを増やせばなんとかなるものではない。自治会と防災リーダーのコンセンサスが十分にとれていないと感じる。</p> <p>つまり、防災リーダーの位置付けをはっきりさせていない。ある自治会で話を聞いたら、「勝手に彼が防災リーダーって言ってきたけど・・・」という町内もある。</p> <p>せっかく研修を受けた防災リーダーならば、例えば担当箇所を決めるなどして、町も幅広く広報して、この人があなたたちの防災リーダーだということをはっきり位置付けをしてあげないと防災リーダーも動けないし、万一の時に、どこがやったらいいということでも迷ってしまう。現にそういう話を聞いているので、防災リーダーの育成の仕方、位置付けをはっきり行ってほしい。防災リーダーを育成するならどのようにコンセンサスを取って防災リーダーが働きやすいようにさせ</p>

	<p>てあげられるかしっかり考えないと、育成だけしてもいけないと思う。</p>
益川会長	<p>おそらく最初つくられた時はまず数を増やそうと計画を立て、着実に堅実に進めてきたと思うが、数は揃ってきたというところで、それをいかに実質的に動いていくかを議論しなければいけないという指摘だと認識したので、もちろん数値を増やすことも大事ではあるが、それをどういうふう実際に動くようにするのかを課題として盛り込んだら良いと思う。</p> <p>もちろんこの計画としては数字があるので、さらにその数字を充実させていくことは必要だが、もう一歩踏み出す段階だと今の意見を聞いて思ったので、今の意見を担当課の方に返す形で、課題として入れていけば良いと思う。すぐにできるかどうかは別だが、そういう面を持って今後自治会などへの要請を進めて欲しいということは担当課の方へも伝えてもらえると良い。</p>
企画課長	<p>これについては当然自治会に浸透させていかなければならないと思うが、すでに防災リーダーを中心として防災に取り組んでいる自治会もある。自治会単位の防災訓練を防災リーダーが中心になって実施しているところも、また防災リーダー講習会、また防災士の講座にかかる費用を自治会で負担しているところもある。積極的に防災リーダーを自治会から要請しようという自治会もあるので、こうしたことが他の自治会に広がっていくように、担当課にもバックしたいと思う。</p>
鈴木委員	<p>空き家の関係で質問したい。略式代執行を実施したということだが、町の費用で行ったということか。危険があつて壊したというだけで、支出した町の費用が戻ってくるっていうことの予想も何もなく、安易な考えだと思うがどうか。よく考えてほしい。今後に対して一つの例になってしまう。その点の見解について、はっきり言って失敗だったのか、そのあたりの意見をまず聞きたい。</p>
総務部長	<p>公費を投入するということに対しては、当然よく考えて実施した。今回は危険な建物が建っていて、その所有者が特定できないため、略式代執行に至った。もともとそこで生活していた方がしっかり片付けてくださればこういうことにはならないが、やむを得ず県の補助金を足しにして代執行した。</p> <p>失敗か成功かについては今の時点ではなんともいえないと思うが、とにかく土地も建物も、所有者の特定を何年もかけてやってきましたが、特定ができなかったということ。弁護士への相談や空き家対策の委員会などにおいても何度も協議をし、県内の他の事例も話を聞いたり、確認した上で略式代執行という形で行ったということ。</p>

鈴木委員	<p>この行政代執行は私は、少しおかしいと考えている。例えば土地を町に寄附してもらおうとか、代執行を実施したにしても、もうちょっと踏み入って、後処理をしっかりとしなければいけない。空き家が数10件単位であって、1件壊したから他にも壊したら良いというような連鎖反応が起きては困る。そういうことを考えると、代執行そのものが本当に正しいかどうかを町は十分判断してほしい。例えば屋根のひさしだけを壊してしまうとか、部分的に壊すこともできる。いろいろなことを考えて取り組んでもらいたい。</p> <p>また、せっかく実施した町の中心地のところですので、後処理をしっかりと責任を持ってやってもらいたいと思う。</p>
益川会長	<p>町の判断として、ある意味で公費を投入することが適切だという判断の上で実施したということ。鈴木委員からはそれをする際に、さまざまなことを考えながら慎重に判断するべきだという意見と受けとめました。</p> <p>その通りだと思うし、せっかく公費を投入して実施することなので、今後の有効活用というわけではないが、その危険の回避というマイナスの要素だけでなく、それを上手くプラスの方に転嫁することまでを見定めた上で行政判断をして欲しいということだと思うので、これは尤もなところだと思うし、事務局の方で受け止めていただければと思う。</p>
安藤委員	<p>4-3の工業団地の推進の件で、開発可能性調査を行い、対象地区はコスト面等から適地とするのは困難という調査結果があるが、場所はどのあたりか。</p>
企画調整係長	<p>城町、送木の周辺。どうしても山あいの場所になるので、場所を確保しようとする山を切らなければいけない。そうすると採算性の部分からしても、切り開くには非常に難解な場所だということであった。</p>
安藤委員	<p>御嵩町の財政力指数は6割程度だったと思うが、ある程度この管内では良いほうではある。</p> <p>グリーンテクノみたけは一時期負の遺産だったこともあったが、東海環状自動車道の開通、それに伴い立地がいいということで、急激に売れていっぱいになっている。グリーンテクノの税収がどのぐらい御嵩町の財政に影響を与えているかわからないが、亜炭廃坑が埋まって、御嵩に来たいという企業が出てきたという話を聞くことがある。そういう企業があるならば、もう少し税収アップ等につながるような適地を積極的に検討してほしいという思いがある。</p> <p>可児市も瀬田の周辺で、新規の工業団地開発するようなことを言っているし、御嵩町はそれに遅れをとるような思いがある。</p>

<p>企画調整 担当参事</p>	<p>リニア中央新幹線の沿線に当町がなっていて、美佐野地区にトンネル、地上部分ができるというところで、発生土を活用して、今、工業団地までではないが、企業用地を造成するという計画はある。</p> <p>町としてもそういった用地がほぼないといった状況なので、今のような計画を進めている中で、用地を確保していきたいという町の考えもある。</p> <p>現状ではJRと地権者の方々の協議の最中なので、町としてはそれをサポートするような形で進めているが、町としても何とか企業誘致は進めていきたいと思うので、大規模な工業団地の造成まではいかないが、実現に向けて町としてもサポートしていきたいという状況。</p>
<p>安藤委員</p>	<p>送木周辺が困難なら、もっと他に適地があるかどうかということ積極的に模索してほしい。</p>
<p>須田委員</p>	<p>今、城町と送木でそんな話があるというのは私初めて聞いた。地元が良くなるようなことは、自分からお金を出してでもやってもらいたいと思う。</p> <p>送木は少子高齢化でどんどん空き家が増えている。そんなところに明るい話があれば、少なくとも議論にのせるようなことをしてもらわないと。知らずに済んでいて、情けない話である。</p>
<p>安藤委員</p>	<p>先ほどの送木の工業団地というのは前から話がある。調査で適地ではないという結論が出たという話が出ているが、それならそれで、他に税収の道を考えたらどうかという話である。</p>
<p>益川会長</p>	<p>工業用地や企業用地の開発、また企業誘致については積極的にやっていくということだと思うが、安藤委員の意見としてはしっかりと税収アップというところも見定めながら戦略的、積極的に行ってほしいという意見と受けとめましたし、須田委員からは、もっと情報提供をすべきだということ思う。</p>
<p>須田委員</p>	<p>やはりうれしい話はどんどん聞きたい。</p>
<p>益川会長</p>	<p>住民の方と合意形成しながらでないという取り組みは進まないと思うし、やはり知らなかったとなるとそういう思いになるところは心情的にはよくわかることである。企業誘致や企業用地の確保は戦略的に進めるという方向だと思うが、戦略的に、積極的に進めてほしい、それから住民の方と情報共有しながら、透明性をもって事業を進めて欲しい。</p> <p>全般にわたることだが、透明性のある行政活動を進めて欲しいというご意見という形で受けとめた。</p>

安藤委員	<p>岐阜県の工業用地開発可能性調査の採択を目指すがあるので、やはり目指して欲しい。人口減少が進めば税収も追ってくると思うから、やはり10年20年先を見据えた税収の確保等を考えていかないと心配している。</p> <p>それから5-1の治山治水対策で唯一のC評価というのがあるが、以前古屋敷に行ったときに、お宮のところのがけ崩れがあるのを見た。対策がしてあって、その上から落ちている感じだった。その後のケアは何かしてあるのか。</p>
企画課長	崩れた事実は知っているが現在のところ把握していない。
安藤委員	防護壁のようなものが作ってあったが、それを乗り越えて崩れているように見えた。
企画課長	急傾斜地の事業で実施しているところだと思う。
安藤委員	近所の方がすごく不安に思っている。県事業であることからなかなか進捗がうまくいかないというのは承知しているが、必要な箇所をケアしてあるのかというところ。
総務部長	私有地で個人が所有している関係でできなかったのでは。
益川会長	このCという評価を見たときに、県事業でなかなか予算が伴わなかったところということは理解するが、住民の方の生命の安全安心のところにかかる中身だと思うので、町からすると当然外的な要因の部分が大きいとのことだが、非常に重要なところだということで、改めて県の方に要望の継続というところを引き続きお願いできればと思う。
水野委員	<p>御嵩地域の活性化みたいなものを今まで聞いてきたが、結局、現状維持では何ともならない。やはり前へ前へ進んでいかないといけない。</p> <p>例えば名鉄広見線は、今まで莫大なお金をつぎ込んできたので、絶対廃止させることなくこれから維持させようと思うと、工業団地であり、空き地空き家などを活性化に関する施策をやっていかなければいけないし、とにかくもう一歩も止まることができない。</p> <p>なので、うまいことは言えないが、岐阜県の宝物である御嶽宿、伏見宿の中山道であり、そういう活性化をできるところから、日本の御嵩みたいなものを宣伝していく、そういうものも出して行って欲しい。</p>
益川会長	水野委員の意見を私なりに解釈すると、総合計画として10年の計画があり数

	<p>値目標は掲げられているので、それはそれでしっかりと進捗をしていくべきで、こういう形での検証というのは重要な機会。</p> <p>ただ、おそらく数値目標も含めて見直さなければいけない部分があるのではないか。余りにも高い数値目標でちょっと現実的にはないというものも何となく散見される。逆に、もう少し一歩進んで、例えば防災リーダーの方も数を増やすというところが当初の目的としてあったが、それがある程度達成されてきた中で、さらにもう一歩進んでそれを構造化して、実質的に現場で動くような形に高めていくというところまで考えたほうがいいのではないかというご意見をいただいたように、計画も進化するもので良いのではないかということだと思う。</p> <p>もちろん約束事なので、この計画に示されたことはしっかりと達成するため、堅実に実施していかなければいけないと思うが、その進捗状況に応じて、例えば数値目標の見直しも含め、進化させるところは進化させるという視野を、持ってもらえると非常に良い。</p> <p>水野委員の意見は前向きにどんどん進めて欲しいという意見だと理解したので、見直したり進化させたりというところも他方で視野に入れながら計画を進めるといいと思う。</p>
中瓦委員	<p>私は今僱歴会に入り、観光ガイドの部分を勉強している。町としては観光のまちとして御嵩町を考えて豊かにしていきたい、住民が楽しく暮らしていけるようなところを作りたいと思っているのか、それとも、先ほど工業用地の話が出ていて、御嵩町は工業を誘致することによって税収を高めて豊かにしていこうと考えているのか。</p> <p>どちらかと決める必要ないかもしれないが、方向性がちょっとよくわからなくて、何に1番力を入れていきたいかというところを聞いてみたい。</p>
益川会長	<p>改めてこの総合計画の確認という形でとらえていただければと思う。</p>
企画課長	<p>観光だけではなく、それぞれの伸ばすべきところを伸ばしていくというところ。まったく御嵩町に可能性がないことを計画に載せているわけではなくて、可能性があることを伸ばしていこうという計画で、総合計画の冊子の30ページ以降、目指すまちの姿からスタートし、5つのまちの姿を実現する点が大きな項目ということで、簡単に申し上げると、このまちの姿、目指すものの5項目ということである。</p>
益川会長	<p>計画なのでこういう書き方になると思うが、どれかに特化することよりも、ここに掲げたものをバランスよくというところで、この計画では示されているとご理解いただく形になるかと思う。</p>

中瓦委員	<p>もう少し、御嵩町はこれだという特色が欲しいなと思う。私は後から入ってきた人間なので、他と違う、「これがあるから私は御嵩が好きだ」というところ欲しいというのが本音。</p>
企画課長	<p>計画は計画としてあり、これが町の一番上位に持ってきている計画であります。各担当課としては熱い思いを持って、例えばまちづくり課であれば、観光を目指していこうとそれぞれ取り組んでおり、企画課では企業立地、企業進出ということも思いの中の一つとして持っている。それぞれの担当別に思いを持って取り組んでいる。</p>
平井副会長	<p>防災また防犯について、自治会単位で行うということはある程度示しているが、最近では自治会崩壊という言葉も使われたりしますが、自治会から出たがる、外れるということがあるようで、やっぱり防犯とか防災というのは自治会で行う、同じ被害に遭うという観点からも、行政から自治会には入ってもらわないと困るというところまでの突っ込んだ話をしてもらっても良いと思っている。古屋敷等の国道バイパス沿いにはアパートがたくさんできてきている。そこで何かあったときに、アパートの人が知らないではなくて、そこも総括して御嵩町の住民。まとめることを一つ考えていかなければいけないと思う。</p> <p>もう1点、今上之郷の井尻地区は人口が増えている。ところが、そこで食糧品、雑貨品を買う店がない。車に乗れるうちはいいが、買い物弱者になった時、バスでそれこそいくのか。地元でスーパーを出店したり、雑貨を販売しようとか、そういう時の起業支援というのも考えていただきたい。ここに住むつもりで、アパートでなく一戸建ての家を建てているわけなので。</p>
益川会長	<p>事務局は意見として受けとめてほしい。何にしても自治会がやはり基盤というところがあるので、その強化を視野に入れていただきたいということと、あと切実な課題に対してどういう支援が必要なのかというところをしっかりと考えてというご意見だと受け止めた。</p> <p>特に今の場合、買い物弱者等々の問題がおそらく近い将来出てくるだろうというふうなことの背景の中での起業支援ということで、そういった各地区に非常に切実な、リアルな課題というものがあると思う。なので、それに応じた取り組みをどんどん進めて欲しいというご意見だと思うので、ぜひそれはしっかりと受け止めていただきたい。</p>
鈴木委員	<p>16 ページで施設の老朽化と書いてあるが、私が見る限りは、郷土館もそれから竹屋も、何にも老朽化しているようなところがないが、こういうところに老朽化</p>

	という言葉を使っているということは、何を指して老朽化と使っているのか。
企画調整 係長	施設全体の電気基盤、また照明や空調というところについて、老朽化が進んでいるというところは耳にしている。
鈴木委員	そういうものだけであれば老朽化という言葉は使う必要はないと思う。
益川会長	施設というより設備ということか。
鈴木委員	<p>いっぺんに老朽化とここで謳うと、施設のことを言っているような感じがするので、これはやっぱり避けていただきたい。</p> <p>それから、資料2で、商品販売額がずっとありますが、平成27年度に141億円とあって、あとは目標額が150億円となっている。</p> <p>国勢調査結果待ちと書いてあるが、その下の製造品出荷額を含めて、工業団地別もしくは業種別にこういうようなものがどのくらいなのか、内訳を出してほしい。商品販売額についても例えば大手のスーパーと個人商店の比率などの内訳も必要と考える。</p>
益川会長	<p>数値の課題については、資料の出し方ということだと思うので、検討をお願いしたい。</p> <p>数値と関わっていうと、目標値が本当に適切かという部分がいくつか見られる。あまりは言っただけいけないかもしれませんが、例えば温室効果ガスの排出量をここまで押さえるのは厳しいだろうと思う。それから自主運行バスの利用者数の29,000人以上というの、かなり厳しそうだなという感じを受ける。</p> <p>これが設定されているからには、それだけの数が必要だという見込みがあつてのことだと思うが、状況が変わってきているところもあるので、それらを勘案して見直しの必要があるとすれば見直していけば良い。下方修正するものもあつてもいいと思う。</p> <p>計画としてはこれで良いという部分もあるが、一方で、少し変化させてもいいということも思うので、その辺りも含め議論を進められるといいと思うので、ぜひ検討してほしい。</p> <p>他に良いか。良さそうなので、これからまとめに入る。</p> <p>私としてはもう最後に言ったことがすべて。計画は計画で決まっていることなので、確実に堅実に進めて欲しいと思うが、やはり何年か経つと状況も変わってくる。ぜひ進化させるところは進化させて、また下方修正するところは下方修正しつつ、現実的なところで住民の福祉をいかに向上させるかというところが重要だと思うので、そのあたり少し勘案しながら計画を進められるようお願いしたい。</p>

	<p>また、この場は時間が限られているので、随時事務局の方にいろいろな意見をいただければありがたい。</p> <p>委員の皆様それぞれの立場から率直なご意見をいただいたと思うし、今後この計画を推進する上で、住民の福祉をいかに向上させるかという行政活動の根本的なところまでご意見いただけたと思うので、引き続き委員の皆様におかれましては、この場に限らず様々なご意見を頂戴したいと思う。また、事務局としてはその声をしっかりと受けとめながら、この計画を着実に進めて住民の福祉の向上というところに、さらに資していただきたいと思う。</p> <p>これで令和元年度第1回の御嵩町総合計画審議会の議事は終了する。事務局に進行をお返しする。</p>
<p>企画調整 担当参事</p>	<p>○閉会挨拶</p> <p>非常に様々なことを行政としては行っているが、それに自己満足することなく、しっかりと町民の方々に伝えていくということが大事だと感じている。また、見直す、そして進化するということが大事だとも思っている。</p> <p>本日いただいたご意見は、計画にしっかり反映させていきたいと思っているので、引き続き、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>本日はまことにありがとうございました。</p>
	<p>○閉会</p>